

## 説明書

(令和6年5月20日作成)

### ・不誠実対応-47

アルプスの森（施設代表:宇津慎史）は施設が閉鎖中にも関わらず、何の問題もなく施設運営を継続していると思わせるようなホームページの改訂を行い、遺族に説明も報告もなく、一方的に悠生の命を奪った事件に関する記載を削除していた。

特にこの悠生の事件に関する説明文のホームページ上への掲載は、悠生の遺族側が施設にホームページ上での掲載の依頼をしていたにも関わらず、施設側が拒否をし続けたために悠生の命が奪われてから半年以上の期間を経てやっと掲載されたものであった。

ホームページ上での悠生の命を奪った事件に関する記載内容自体は（不誠実対応-45）に記載されている通り、記載内容の殆どが嘘・捏造であったが、遺族側としては施設側が自ら嘘つきであることを公言している状況であるため掲載の継続を望んでいた。

しかしながら施設側は一切の説明もなく、記載内容が嘘・捏造に埋もれた内容であったことが露呈した今日においても一切の謝罪もなく、一方的にホームページの改訂を行い、悠生の事件に関する記載を削除した。

その更新されたホームページの記載内容も、被害者の感情を逆なでするような内容であったが（死亡事件、暴行事件、さらには虚偽報告や有印私文書偽造を犯した施設が、これらの多くの犯罪を起こした施設とは到底思えない内容が記載）、今度は、遺族に説明も謝罪もなく、一方的に改訂したばかりのホームページを閉鎖した。

当該施設代表者の宇津慎史及び、児童発達支援管理責任者の宇津雅美に一片の謝罪の念がないことが再確認された。

従って、宇津兄弟(宇津雅美及び、宇津慎史)は、どこまでも不誠実な対応しかしない人物であることが再度、認識された。